

保護具着用管理責任者は、労働者の安全と健康を守るために、保護具の適正な選択・使用・保守管理を統括する責任者です。

## 定義と背景

保護具着用管理責任者は、労働安全衛生規則に基づき、事業場で使用される保護具（呼吸用保護具、防護服、保護手袋、保護長靴、保護めがねなど）の適正な運用を管理する役割を担います。保護具は、化学物質や危険な作業環境から労働者を守るために使用され、リスクアセスメント対象物からの防護を目的としています。

## 選任の要件

2024年4月の規則改正により、特定の条件を満たす事業場では保護具着用管理責任者の選任が義務化されました。選任は事業場ごとに行い、必要性が生じた日から14日以内に通知する必要があります。特に、リスクアセスメント対象物を取り扱う場合や、新たに危険物質を使用する作業が発生した場合に選任が求められます。

## 主な職務内容

保護具の選定：作業内容、化学物質の種類や濃度、作業時間、作業強度、労働者の体格に応じて最適な保護具を選ぶ。

使用管理：労働者が保護具を正しく着用しているか確認し、特に呼吸用保護具はフィットテストを実施して適切な着用状態を維持する。

教育・指導：保護具の必要性、正しい使用方法、着脱方法、保管方法などについて労働者に教育を行う。

保守管理：保護具の定期点検、交換時期の管理、劣化や破損の確認を行い、常に使用可能な状態を保つ。

## 役割の重要性

保護具着用管理責任者は、化学物質管理者の指導のもとで保護具の運用を管理し、作業場の安全衛生管理体制の重要な一角を担います。適切な保護具の選定と管理により、労働災害や健康障害のリスクを低減することが可能です。

保護具着用管理責任者の選任要件

**保護具着用管理責任者の選任要件は、以下の6つの条件を満たす者です：**

化学物質管理専門家の要件に該当する者

作業環境管理専門家の要件に該当する者

労働衛生コンサルタント試験に合格した者

第1種衛生管理者免許もしくは衛生工学衛生管理者免許を受けた者

作業主任者技能講習を修了した者（特定化学物質、金属アーク溶接、有機溶剤、鉛、四アルキル鉛）

安全衛生推進者講習を受講した者

これらの条件を満たす者がいない場合は、専門的講習を受講する必要があります。